

ショパンをめぐる音楽 シリーズ③

伊藤裕佳子ピアノリサイタル



～ウィーンは通過地～
 ショパンは成功を夢みて20歳でウィーンに出たが、
 完全な失敗。
 8か月間の“無為の時代”から
 「一刻も早くパリへ！」の思いに。
 1歳下のリストは、少年の頃ウィーンで修業後、
 今やパリ社交界の花形に

Yukako Ito Piano Recital

2018 **6/1** (金) 19:00 開演 18:30 開場 **ふきのとうホール**

(札幌市中央区北4西6-3 六花亭札幌本店6階)

2,000円 (全席自由・税込) 大丸プレイガイド: TEL 011-221-3900 道新プレイガイド: TEL 011-241-3871

未就学児童の入場はご遠慮下さい。

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第8番ハ短調
L.Beethoven **作品13「悲愴」**

Piano Sonata No.8 c-moll op.13 "Pathétique"

リスト: 葬送曲 (「詩的で宗教的な調べ」より第7曲)

F.Liszt Funerailles (From "Harmonies poetiques et religieuses" S.173)

リスト=ヴェルディ: リゴレット・パラフレーズ S.434

F.Liszt (Verdi) Paraphrase de concert sur Rigoletto

ショパン: 4つのマズルカ作品6

F.Chopin 4Mazurkas op.6

スケルツォ第1番ハ短調作品20

Scherzo No.1 h-moll op.20

バラード第1番ト短調作品23

Ballade No.1 g-moll op.23

ポロネーズ第6番変イ長調作品53「英雄」

Polonaise No.6 "Héroïque" as-dur op.53

伊藤裕佳子 (いとうゆかこ)

上智大学卒業。北海道大学大学院修士課程修了、MBA取得。仏二ス国際アカデミーにて研鑽。英オックスフォード・インターナショナル・ピアノ・フェスティバルに参加、ディプロマを取得。たびたび渡仏し、ショパン教育で権威あるパリ音楽院教授A. ヴィブロスキーほか J-M. コティ、J. チン、C. オルティエズ各氏に師事。

道内各地、東京、横浜、京都、英オックスフォード、仏サン・マロ等で様々な演奏会に出演。札幌では市民芸術祭新人音楽会出演後は、道庁赤レンガ音楽祭 (N響団員の室内楽他、毎夏11年間続き99年で閉幕)、市内各美術館コンサート、JRふれあいコンサート等に出演。1993年より、札幌でリサイタルを継続開催しており、今年で25周年を迎える。一昨年よりショパンを中心としたシリーズをスタートさせた。

毎日新聞、北海道新聞「朝の食卓」のエッセイ執筆のほか、著書「アンビシャスな奇想曲～地方区ピアニストのひとりごと～」は、道新の他、音楽専門雑誌の書評欄で高い評価を得た。

後援: 札幌市、札幌市教育委員会、北海道新聞社 お問い合わせ: アルマ工房 TEL011-863-2718